

平成28年度事業報告

特定非営利活動法人

神奈川被害者支援センター

自 平成28年4月1日

至 平成29年3月31日

第1 総括

1 被害者支援を巡る情勢

平成28年度は、平成21年6月1日、かながわ犯罪被害者サポートステーション（以下サポステという）に支援活動の場を移して8年目に入り、被害者支援活動も更に充実した1年であった。とりわけ7月26日、障害者福祉施設「津久井やまゆり園」で発生した殺人等事件や港南区の通学児童への自動車衝突事件等、社会的反響の高い事件が発生したが、県・県警察と連携して被害者等に対する支援を適切に実施した。

事業活動面では、増加傾向にある、基本的事業である相談事業、直接支援事業等の適正推進を図ったほか、平成24年10月から実施した「いのちの大切さを学ぶ教室」も定着した。また、全国に先駆けて実施した「性犯罪被害者支援の四者協定」に関しては、ホットライン型・ワンストップ体制の定着化に努めた。

更に、犯罪被害者に対する理解と当センターの知名度アップを目的に、「犯罪被害者週間」を中心に地元警察署の支援を受けて実施した駅頭等のキャンペーンは、横浜駅新都市プラザやJR小田原駅前等5ヶ所で実施したが、各警察署支援ネットワーク会員のほか、協力団体等多数の方の支援を受けて初期の目的を達成した。

一方、財政面では、平成25年度を初年度とする、日本財団からの預保金による財政基盤の確立のための補助金を受ける事ができ、ファンドレイジング活動を強化した。また、寄付金付自動販売機の設置、募金箱設置、ホンデリング活動による財源の確保に向けた活動を継続し、活動資金獲得のための諸活動を強力に推進した。

2 会員の状況

平成29年3月31日現在、正会員数は166名、個人賛助会員は192名、団体賛助会員は370団体（合計728名・団体）であった。

3 会費の状況

平成28年度中に会費を納入していただいた正会員は138名、個人賛助会員は123名、団体賛助会員は314団体（合計575名・団体）であった。

4 寄付の状況

平成28年度中の寄付は、個人52名、団体53団体であった。

第2 支援事業等の実施状況

1 電話相談事業等

電話相談事業は、県相談電話（サポステ）業務を受託していることから、日曜・祝日と年末年始を除く月曜日から土曜日の午前9時から午後5時まで実施、ハートライン神奈川も同様に月曜日から金曜日の午前10時から午後4時までの間、電話相談員が交代で相談にあたった。

平成28年度に受理した電話相談等は866件、来所相談は3件で合計869件であった。

2 面接相談事業

平成28年度中、登録カウンセラーによるカウンセリングを74回実施した。

3 直接支援事業

平成28年度中、裁判所や検察庁、法律相談等への付添い支援を710回実施した。

4 被害者の自助グループ支援事業

自助グループ「ジュピター」を毎月1回開催して被害者の立ち直りを支援した。

また、犯罪被害者団体ネットワーク(ハートバンド)全国大会2016にも参加した。

5 「いのちの大切さを学ぶ教室」事業

県警察からの受託事業として、県下の中学・高校64校(70回)、17,799名を対象に実施した。あわせて、リーフレット「あなたが、あなたの家族や友人が犯罪被害者になったら」を受講生徒全員に配付して、本人・家族に対する犯罪被害者支援についての理解と啓発に努めた。

6 関係機関・団体等との連携による被害者支援事業

神奈川県、神奈川県警察、法テラス、横浜市などの関係機関・団体との会議、研修会、講演会やイベント等に98回参加して情報の共有と連携に務めた。また、犯罪被害者等延べ324名(前年度延284名)の支援調整会議を実施するなど支援活動の充実を図った。

No	実施日時	活 動 内 容
1	H28. 4. 21	全国ネット事務局長会議
2	4. 25	神奈川県犯罪のない安全安心町づくり推進会議総会
3	4. 26	法務省被害者担当官研修
4	5. 12	津久井警察署被害者支援ネットワーク会議
5	5. 18	第1回県施策検討委員会
6	5. 19	法テラス被害者協議会
7	5. 27	全国被害者支援ネットワーク総会
8	6. 2	鎌倉警察署被害者支援ネットワーク会議
9	6. 10	緑警察署被害者支援ネットワーク会議
10	6. 15	県・県警察・弁護士会との検討会
11	6. 16	厚木警察署被害者支援ネットワーク会議
12	6. 21	県・市町村担当者会議
13	6. 22	神奈川県被害者支援連絡協議会総会
14	6. 23	麻生警察署被害者支援ネットワーク会議
15	6. 24	旭警察署被害者支援ネットワーク会議
16	6. 24	警察庁犯罪被害者等施策担当参事官室との検討会
17	6. 27	山手警察署被害者支援ネットワーク会議
18	6. 28	大磯警察署被害者支援ネットワーク会議
19	6. 30	大和警察署被害者支援ネットワーク会議
20	6. 30	港北警察署被害者支援ネットワーク会議
21	7. 4	第2回県施策検討委員会
22	7. 5	金沢警察署被害者支援ネットワーク会議
23	7. 21	法テラス被害者協議会
24	7. 28	磯子警察署被害者支援ネットワーク会議
25	7. 29	小田原警察署被害者支援ネットワーク会議
26	8. 5	全国ネット支援活動会議
27	8. 6	相模原北橋本七夕まつりキャンペーン

28	8.9	全国ネット被害者支援サポートセンター準備委員会
29	8.17	津久井やまゆり園関係者（県・市関係部局・県警察）会議
30	8.25	全国理事長会議
31	9.15	保土ヶ谷警察署被害者支援ネットワーク会議
32	9.26	法テラス被害者協議会
33	9.30	全国ネットフォーラム2016
34	10.1	全国ネット秋季研修会
35	10.5	戸塚警察署被害者支援ネットワーク会議
36	10.7	相模原警察署被害者支援ネットワーク会議
37	10.14	関東・甲信越事務局長会議
38	10.14	葉山警察署被害者支援ネットワーク会議
39	10.20	逗子警察署被害者支援ネットワーク会議
40	10.23	瀬谷フェスティバルキャンペーン
41	10.24	いのちを大切にする教室作文コンクール審査
42	10.26	横浜市見える化事業関係機関会議
43	10.27	多摩警察署被害者支援ネットワーク会議
44	10.29	県性犯罪・性暴力被害者支援研修会
45	11.4	宮前警察署被害者支援ネットワーク会議
46	11.6	西区民まつりキャンペーン
47	11.7	浦賀警察署被害者支援ネットワーク会議
48	11.10	加賀町警察署被害者支援ネットワーク会議
49	11.11	相模原南警察署被害者支援ネットワーク会議
50	11.14	第3回県施策検討委員会
51	11.15	平塚警察署被害者支援ネットワーク会議
52	11.16	法テラス平成28年度地方協議会
53	11.16	横浜市見える化事業関係者会議
54	11.18	JR小田原駅前キャンペーン
55	11.21	海老名警察署被害者支援ネットワーク会議
56	11.21	法テラス被害者協議会
57	11.22	横浜市犯罪被害者支援講演会（共催）
58	11.24	伊勢原警察署被害者支援ネットワーク会議
59	11.25	犯罪被害者週間そごう前キャンペーン
60	11.26	ハートバンド2016
61	11.27	ららぽーと湘南平塚キャンペーン
62	11.28	小田急相模大野駅前キャンペーン
63	11.29	JR武蔵溝ノ口駅前キャンペーン
64	12.1	中原警察署被害者支援ネットワーク会議
65	12.2	戸部警察署被害者支援ネットワーク会議
66	12.2	第4回県施策検討委員会
67	12.5	田浦警察署被害者支援ネットワーク会議
68	12.5	横浜水上警察署被害者支援ネットワーク会議

69	12. 6	川崎警察署被害者支援ネットワーク会議
70	12. 6	幸警察署被害者支援ネットワーク会議
71	12. 7	大和・綾瀬学校警察連絡協議会
72	12. 8	藤沢警察署被害者支援ネットワーク会議
73	12. 9	川崎臨港警察署被害者支援ネットワーク会議
74	12. 12	青葉警察署被害者支援ネットワーク会議
75	12. 13	泉警察署被害者支援ネットワーク会議
76	12. 15	伊勢佐木警察署被害者支援ネットワーク会議
77	12. 16	港南警察署被害者支援ネットワーク会議
78	12. 19	都筑警察署被害者支援ネットワーク会議
79	12. 21	横浜市みえる化検討会
80	H29. 1. 11	日本財団預保金関係説明会
81	1. 17	全国ネットサポートセンター検討会
82	1. 18	横浜市みえる化検討会
83	1. 24	第5回県施策検討委員会
84	1. 24	法テラス被害者協議会
85	2. 6	栄警察署被害者支援ネットワーク会議
86	2. 6	平成28年度県安全・安心まちづくり交流会
87	2. 9	秦野警察署被害者支援ネットワーク会議
88	2. 14	座間警察署被害者支援ネットワーク会議
89	2. 17	瀬谷警察署被害者支援ネットワーク会議
90	2. 21	大船警察署被害者支援ネットワーク会議
91	2. 21	全国ネット支援従事者連絡会議
92	2. 23	鶴見警察署被害者支援ネットワーク会議
93	2. 23	平成28年度性犯罪被害者への対応研修会
94	2. 24	松田警察署被害者支援ネットワーク会議
95	2. 28	神奈川警察署被害者支援ネットワーク会議
96	3. 22	横浜市みえる化検討会
97	3. 24	神奈川県関係機関ネットワーク会議
98	3. 31	法テラス被害者協議会

7 被害者支援活動に関する広報啓発事業等

広報啓発事業として次のとおり実施した。

- (1) 「犯罪被害者週間（11/25～12/1）」にむけてのキャンペーン活動として、平成28年11月18日（金）JR小田原駅前、27日（日）ららぽーと湘南平塚、28日（月）小田急相模大野駅前、29日（月）JR武蔵溝ノ口駅前において各警察署及びネットワーク関係者や地域の方による協力のもと広報活動を行った。また、11月25日（金）には、横浜駅東口の横浜そごう前広場（新都市プラザ）において県、県警察と共催し、神奈川県弁護士会、横浜地方検察庁、法テラス神奈川等の後援の下、県警音楽隊を招聘して恒例のキャンペーンを実施した。
- (2) 広報誌ハートメッセージによる情報発信、啓発活動

ハートメッセージ24号7,000部、25号6,000部(計13,000部)を作成し、会員のほか警察署、市区町村、病院等の関係機関、団体等に配付したほか、講演会等でも活用して成果をあげた。

(3) ホームページの活用

効果的な広報とネット社会の効率性を活用するためホームページを活用し、常に新しい情報提供に努めたほか、他の関係機関、団体等とリンクさせて活発な広報を行った。

(4) 他機関等による当センター(サポートステーション)の視察等

本年度中は、富山県危機管理課2名(4/4)、警察大学校被害者支援専科生27名(7/11)、神奈川県弁護士会被害者支援委員会(司法修習生5名・10/7)、広島県警察支援担当課長1名(10/21)、大阪府議会公明党議員2名(12/1)、名古屋市地域安全課員(2名2/17)、福岡弁護士会(1名2/27)、横浜市こども青少年局長(5名3/10)、千葉県弁護士会(16名3/15)、相模原市地域安全課(2名3/21)、計10回の視察等があったがそれぞれ適切に対応した。

(5) 関係団体による広報活動

県下各警察署被害者支援ネットワーク総会にて広報・啓発活動等について協力要請を行ったところ、14警察署関係団体(相模原北、海老名、瀬谷、浦賀、栄、戸塚、戸部、高津、松田、津久井)が、七夕まつり、市(区)民まつり等の機会を通じて被害者支援の広報(募金)活動を展開した。地域での被害者支援の気運が更に広がりつつある。

(6) 講師派遣

今年度は、13回にわたり、県警、少年院、検察庁、学校等に所長以下職員並びに当センター登録の臨床心理士等を派遣した。

	期 日	場 所	対 象 者
1	4.26	法務省保護局	保護観察官
2	6.28	茨城県常総市立水海道中学校 (いのちの教室)	在校生
3	7.14	神奈川県警察学校	警察官
4	9.20	神奈川県警察学校	警察官
5	9.26	群馬県立榛名高等学校 (いのちの教室)	在校生
6	10.29	神奈川県安全防災局くらし安全交通課	相談員
7	11.18	神奈川県警察学校	警察官
8	11.24	群馬県渋川市立北中学校 (いのちの教室)	在校生
9	12.5	群馬県藤岡市立小野中学校 (いのちの教室)	在校生
10	12.7	大和警察署管内学校・警察連絡協議会	関係機関職員等
11	1.13	神奈川県警察学校	警察官
12	3.16	神奈川県警察学校	警察官
13	3.30	川崎市幸地区宅地建物取引業防犯協力会	会員

8 被害者の実態等に関する調査・研究事業

県、県警、神奈川県被害者支援連絡協議会、法テラス被害者連絡会等の各会議に出席し、連携要領等について意見交換を行った。

9 研修・養成事業

(1) 犯罪被害者等支援員ボランティア養成講座

かながわコミュニティカレッジが主催する「犯罪被害者等支援ボランティア養成講座(初

・中級14名)」を平成28年7月1日から同年9月16日まで、「犯罪被害者等支援ボランティア養成講座（上級10名）」を平成28年10月28日から平成29年1月13日までの間、県からの委託事業として、計100時間実施した。

(2) 研修会の実施

当センターの相談員のスキルアップを図るため、毎月1回、事例に基づく検討や、弁護士、関係機関等からの部外講師による月例研修会を12回実施したほか、相談受理要領等の向上のためロールプレイ方式による特別研修を実施した。

(3) 全国ネット主催のスキルアップ研修会への参加

全国ネット秋期研修会5名(東京10/1、2)のほか、質の向上ブロック上半期全国ネット研修会(東京7/30、31)、平成28年度直接支援員実地研修1名(宮城8/22～25)、平成28年度内閣府「性犯罪被害者等支援体制整備事業」研修1名(東京2/3)、全国ネット質の向上下半期研修会1名(東京2/4、5)、全国ネット「支援従事被害者連絡会議」1名(東京2/21)に参加した。

第3 管 理 (平成28年4月1日現在)

1 執行体制

理事長	榑原高尋
副理事長	村尾泰弘
副理事長	武内大徳
理事	繁多進
理事	鈴木達也
理事	勝島聡一郎
理事	近藤晶一
理事	山口正志 (5/1付)
理事	藤井邦彦
理事	山田美和子
理事	藤木幸太
専務理事	長島豪 (常勤)
監事	松本純也
監事	安藤義雄

計 14 名

2 業務体制

(1) 事業課

所員 (常勤)	事業課長 (副所長兼務)	1 名
所員 (常勤)	課長補佐	1 名
所員 (非常勤)	課員	3 名
		計 5 名

(2) 総務課

所長 (常勤)	事務統括	1 名
副所長 (常勤)	統括補佐	(1) 名

所員	総務課長（欠）	名
所員（常勤）	課長補佐	1 名
所員（非常勤）	経理担当	1 名
所員（非常勤）	ファンド担当	<u>1 名</u>
	計	4 名

活動決算報告

平成28年度 活動決算

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

経常収益	受取会費	7,147,000
	受取寄付金	4,092,319
	受取助成金等	10,123,800
	事業収益	4,336,913
	その他収益	113
経常収益計		25,700,145

経常費用	事業費	15,512,005
	管理費	10,399,996
経常費用計		25,912,001